

# 阿波市 議会だより

第28号 年4回発行 [平成25年9月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会  
〒771-1792 徳島県阿波市阿波町東原173番地  
電話 0883-35-4118 FAX 0883-35-4150  
ホームページアドレス <http://www.city.awa.lg.jp/gikai/>

## 代表質問

稲岡 正一 議員  
(阿波みらい)



市長二期目の重点施策は、

「ハード事業からソフト事業へ展開する。市民が集い、語り、絆を深める交流の場「庁舎及び交流防災拠点施設整備事業」を実施する。「学校給食センター」建設事業」では、食育と地産地消、農業振興へと繋げていく。「幼保連携施設整備事業」では、就学前の切れ目のない子育て支援の充実を図っていく。さらに市民の一体感の醸成と魅力ある新しいまちづくりの構築を目指していく。

問 末広古田線の南進工事について。

答 避難路としての幹線道路整備の必要性は十分認識しているが、950mと延長も長く、新規道路のため多額な事業費が必要となる。優先順位をつけて取

## 平成25年第2回(5月)

## 阿波市議会臨時会の概要

第2回臨時会は5月27日に開かれ、市長提出議案4件の概要と提案理由の説明があり、いずれも可決されました。また、追加議案として人事案件1件が提出され同意されました。

## 平成25年第2回(6月)

## 阿波市議会定例会の概要

6月定例会は、6月10日から28日までの19日間の会期で開かれました。開会日には野崎市長から、一条地区幼保連携施設建設事業の今後の予定について、子ども・子育て支援事業計画策定について、学校給食センター建設事業について説明と報告がありました。また、学校給食に係る地産地消の取り組みや、野菜ソムリエの育成を通じて、市民みんなが食に関心を持ち、市民力の底上げを図り、地域農業や市民生活の向上を図りたいと説明がありました。

代表・一般質問では、11人が市政全般について考えを問ひ、まちづくり構想、道路整備、観光・農業振興、教育関係などについて議論されました。

6月21日に産業建設、総務、24日に文教厚生各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。追加議案として市長提出議案1件、人事案件4件が提出され可決・同意されました。また、議員発議として「核兵器全面禁止条約の締結に関する意見書」が提出され可決されました。

の中で特に力を入れたものは、

問 阿波市まちづくり計画を実施するため、現地・現場主義で市民の中へ入り、市民の声を行政に反映していく事である。

問 阿波市の東西20kmの中心部に位置する新庁舎周辺の施設が整備されたら、裏山周辺を購入して開発し、市民参加の色んな行事が出来る場所にしたどうか。

答 今まで温めてきた構想の中では、様々な要素があるが、市民の声も聞き、議会と相談し実施計画を策定したい。

問 議会の答弁の中で前向きに検討、勉強したいとの答えがよくあるが、その後に明確な答弁がなければ、議会との信頼関係が損なわれるのではないか。

答 時間を要する事案もあり、十分に意見調整をし、対応させていただきたい。

木村 松雄 議員  
(志政クラブ)



問 阿波市まちづくり構想について、将来に向けた阿波市らしきまちづくりの具体的な説明を。

答 農業立市と観光交流の強化を図り、食と癒しのまちづくりを推進する。未来の阿波市をつくる人材の育成のために子どもたちの安全・安心を守りながら子育て環境の充実を図る。地域における福祉・安全・自治活動を促進し、共に生きる地域づくりを目指す。

問 将来世代に負担を残さない合併特例債の影響は。

答 新庁舎建設事業等の大型事業費は、交付税措置される合併特例債の充当を予定している。国営吉野川北岸総合かんがい排水事業償還負担金が平成26年度末で完済する。将来世代に負担を残さないよう財政計画に基づいて、計画的、効果的に実施するので、財政の健全化は維持できると見られる。

問 本市を東西に走る中央構造線活断層帯上で、公共施設への見解は。

答 県と同様に、今すぐ危険であるというような認識ではない。マニュアルの再点検、避難訓練などソフト対策を実施しながら総合的な判断をしていきたい。

問 市内通学路の安全対策はどのようにしているのか。

答 市内の小・中学校の通学路の一点検を関係機関の協力を得て実施した。飛び出し注意などののりを立てるなど、子ども

## 一般質問

檜原 賢二 議員  
(阿波絆)



もたちの安全確保に努めてまいりたい。

問 日開谷川は河川の雑木が生い茂り、市民の生活環境を悪化させているが、環境美化についての施策は。

答 雑木、雑草が密生し、水の流れを妨げているほか、景観も損なわれている。県管理の河川につき、しゅんせつ等の要望を機会あるたびに行いたい。

問 鷲谷川の排水機場の設置要望について、市の対応は。平成23年第3回定例会で要望した1734名の陳情の重みは。

答 県内でも多くの要望箇所があるが、市として一歩踏み込んだ協議を進めたい。

問 県警本部からは、今回の再編計画は組織体制が脆弱という小規模署を抱える問題を解消し、組織体制の強化を図りたいとの説明が行われた。その概要は、吉野川警察署に本署機能を持たせ、統合後も3交代で24時間勤務する地域警察官やパトカー勤務員等を配置する。市内10箇所

正木 文男 議員  
(阿波清風会)



問 県道志度山川線の進捗状況

と、香川県境への接続の見直しは。また、市内道路の改良整備の取り組みは。

答 志度山川線の中央道路への接続は、ここ2、3年で完成するよう要望していく。香川県境への接続は、まず復元を目指し、自衛隊南駐屯地の訓練として道路整備を要望している。市道については、平成28年度道路整備目標を70%として取り組んでいく。

問 道德教育について、市としての積極的な取り組みは。また市内小学校への二宮尊徳像の復元、市内各地にある忠魂碑への清掃奉仕、墓参等を道德教育の一環として取り組むべきと考え

答 道德教育の推進は重要と考えており、道德の時間を核として学校教育活動全体を通じて取り組んでいく。二宮尊徳像の復元については、偉人の一人として道德教育に活かしていきたい。忠魂碑への活動は様々な議論があることから、行事としての取り組みは難しいと考える。

問 土地改良区の健全な維持運営は、農業振興のためには必要不可欠なものであるが、合併の推進状況とPPPを控えるなどの様な対策を考えているのか。

答 合併推進に向けて、阿波町では3、土成町では9の土地改良区が合同事務所を設置し合併に向けた取り組みを始めている。支援策については各種事業への補助や償還金に対する助成を行っている。今後PPP交渉参加を控える中、支援強化を図る必要があると考えている。

問 無投票で再選されたが市長の感想は。また、農業施策に取り組む考えは。どのように守り

答 無投票再選は、非常にありがたいが、影の部分が見えない市民の見えない意見や心をつかりと胸に刻んで、これからの行政をやって行きたい。農業施策においては、農業振興課内に嘱託職員として参与1名を配置し飛躍的な伸びを見せている。現地・現場を見ながら、農業振興を推進して行きたい。

問 各学校の耐震化が進む中、トイレの改修も含まれているが市場小学校等の屋外トイレが非常に悪い。今後どの様に取

答 屋外トイレについては、昭和50年代に建築された古いものもあるため、今後、検討し改善等を行う必要がある。

問 土柱そよ風広場、山野上農村公園等の遊具を充実できないか。

答 遊具の設置されていない公園については、要望も聞き検討したい。

問 白鳥荘の施設再開をどのように考えるか。

答 白鳥荘の施設の問題と、活断層の問題を総括して、公園全体の整備の中で考えたい。

問 市道の重大事故発生現場に注意を喚起する標識を設置してはどうか。

答 関係機関と協議し検討していきたい。

岩本 雅雄 議員  
(阿波みらい)



問 志度山川線バイパス道へのアクセス道路の新設について。

答 バイパス道路の東原交差点部分から東の集出荷施設への路線は、整備効果のあるルートでの用地の課題や、道路の線形等の条件が制約されるが、生活道路でもあり、通学路でもあるので、バイパス道路の進捗とあわせ、



市道の整備計画を検討し、県とも協議していきたい。

**問** 国指定天然記念物「野神の大せんだん」の保護について。

**答** 文化庁や樹木医の指摘により、保護柵については、東側用地を含めた範囲に軽量化された柵の設置を検討している。石碑については、東側用地への移転を考えている。東側の用地確保は、まず根張りの範囲調査によって用地を確定し、追加指定申請する。用地取得時期は、追加指定が認められる平成27年度に行いたい。西側の舗装道路は、根張り範囲の道路部分を橋梁構造にするなど、根への負担を軽減させる道路工法を関係課と協議し改善したい。

**問** 肺炎球菌のワクチン接種の助成について。

**答** 本年度中に国から定期接種として採択されたら、予防接種となる。採択されない場合は、県保健・衛生統計等の状況による費用対効果を考慮しながら、市の単独事業として取り組むかどうか、判断したい。取り組む場合は、対象年齢、個人負担額の検討をしたい。

**松永 渉** 議員  
(阿波清風会)



**問** 阿波市の農業強化策は何か。経営所得安定対策交付金事業や、青年就農給付金事業、人・農地プラン事業を推進する。また、給食センターへ供給する食材の産地化や、野菜ソムリエの育成、ブランドの推進等を強化する。

**問** 阿波市次世代育成行動計画の検証について。

**答** ファミリーサポートセンター事業は、25年3月末の登録会員数262名、24年度末活動件数実績566件、活動時間数410時間、時間単価700円

であり、今年度はさらに活動が活発化している。病児・病後児保育事業は、早期に事業開始したい。合計特殊出生率は、23年度で全国1・39、徳島県1・42、阿波市1・39となつて

**問** 企業誘致への取り組みは。企業誘致調査の結果を元に、県と連携し、企業にも発信していく体制をつくりたい。

**問** 移住交流の住居支援策は何か。公共施設の跡地利用や国県等の支援事業も考え、定住促進効果の高い事業を研究したい。

**問** 新庁舎建設に関する市内業者に対する下請等の取り組みについて。

**答** 市内業者への実施目標額として31億8千万円が提示されている。半期ごとに報告される履行状況を十分検証する。

**問** 大影小学校の活用策を全国的に募集し、民間委託も含めた跡地利用を推進すべきではないか。

**答** 地域の思いや、関係部局とも話し合い活用策を研究したい。

**原田 健資** 議員  
(無所属)



**問** 土成町西部・八幡・市場とJR線等を結ぶ旧県道切幡西麻植停車場線の復活と、対岸への大橋、バイパス直線化への市の考えは。県へ要請してはどうか。

**問** 栗島の渡し船も現存していない。県道の復活は難しいのではないかと。大橋については県に事業要望していく段階にはない。少し勉強させていただきたい。

**問** 金清の白鳥荘は2年間休止であるが再開について。期待している人は多いはず。

**答** 白鳥荘は県条例の規制を受ける場所や施設ではないが、総合的に判断すると、現状の施設を再び開館あるいは利用するこ

とは適当でないかと考える。現在の施設の扱いや今後の土地利用等の計画については、各方面からの意見を聞いたり、専門委員会など、相談を重ねながら決定していきたい。

**問** 市内外への通勤通学の堤防道路、県道香美吉野線、市道二条北須賀線等の路肩部の舗装をいっばいに広げてはどうか。

**答** 堤防を利用した道路であるため、路肩より50cmは舗装の制限がある。しかし、危険な箇所もあるので修繕の対応を行いたい。県道については、堤防上の整備を促進するよう市からも要望していきたい。

**櫻原 伸** 議員  
(阿波清風会)



**問** 多種のアレルギー疾患への対応について。

**答** 給食での食物アレルギー疾患を持つ児童・生徒は88名、その内イベントを使用する者は3名在籍している。教職員はエビペンの使用ができる応急処置の研修をしている。

**問** ジェネリック医薬品差額通知サービス実施により、医療費はどのくらい削減できたのか。

**答** 国保連合会によると約616万円の削減ができた。今年度の目標についてはジェネリック医薬品が1種類でなく、単価も一律でないため、金額ベースの目標が立たないで、目標として利用率60%としている。

**問** 太陽光発電における農地の減少見込みと、太陽光発電施設に関する転用許可の制限について。

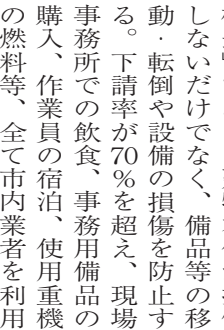
**答** 阿波市における太陽光施設用地11万㎡の内、約6800㎡が農地転用によるものとなっている。農地法にもとづく農地区分が第二種、第三種農地に該当

する土地は認めているが、良好な条件を備えている第一種農地は原則として転用は禁止されている。

**問** 新庁舎建設の耐震工法と、地元業者の育成は。

**答** 災害時に、災害対策本部として、支援物資や災害ボランティア等の受け入れや活動の拠点となることから、工法は「免震構造」である。建物本体が損傷しないだけでなく、備品等の移動・転倒や設備の損傷を防止する。下請率が70%を超え、現場事務所での飲食、事務用品の購入、作業員の宿泊、使用重機の燃料等、全て市内業者を利用する。また擁壁工事、排水路工事、舗装工事、植栽工事など分離発注し、市内業者に入札の機会を与える。

**池光 正男** 議員  
(日本共産党)



**問** 幼保連携施設が建設されているが、阿波市の運営について。

**答** 阿波市の「子ども・子育て事業計画(案)」を策定し、平成27年4月以降の方向性を示したい。現時点では、現状どおり公設公営で運営していく。今後においては、子どもが安心して保育・幼児教育を受けられるような環境づくりのため、また子育て支援が安定的に継続できるように構築していきたい。

**問** 日開谷川上流の貯水砂防ダムに土砂がたまり、機能が危ぶまれているが。

**答** 県管理であり、現状では機能が損なわれるような堆積状況ではないとのことである。地元水利施設の機能維持のため堆積土砂等の撤去が必要であれば、水利組合において対応していただきたい。しかし地元農家が取水に苦慮している現状から、県との協議が進むよう要望したい。

## 活動状況報告

### ●庁舎建設特別委員会・新庁舎建設現場視察

6月24日、造成工事中の新庁舎及び交流防災拠点施設の現場を視察しました。現在予定どおり進んでいるとのことで、図面を見ながら丁寧な説明を受けました。今後、ダンプ等工事車両の出入りが多くなるので、交通安全を遵守して作業がスムーズに進むことを要望しました。



### ●全国市議会議長会研究フォーラム

7月10～11日、北海道旭川市において全国市議会議長会研究フォーラムが開催され、多数の議員が参加しました。基調講演「地方議会改革」やパネルディスカッション「住民自治の実現と地方議会への期待」等を視聴し、これからの阿波市議会がめざすものをそれぞれの議員が心に刻んだ研修会でした。



### ●タブレット端末活用勉強会

7月31日、議会改革の一環としてペーパーレスを推進している先進地の取り組みを参考に、実際にタブレット端末を手にとって操作を行いました。導入には解決すべき課題もあり今後どの様に議会運営に活用するのかを研修しました。



### ●地域活性化インターチェンジ調査特別委員会視察研修

8月9日、広島県安芸太田町の加計スマートインターチェンジを委員及び担当課職員らが現地視察しました。地域づくり課職員から設置に至るまでの概要と現在の状況説明を受け、活発な意見を交わしました。



### ●委員会等の開催状況

5月27日	全員協議会	7月22日	文教厚生常任委員会
6月3日	議会運営委員会	31日	タブレット端末活用勉強会
10日	全員協議会	8月5日	全員協議会
13日	地域活性化インターチェンジ調査特別委員会	9日	地域活性化インターチェンジ調査特別委員会視察
21日	産業建設常任委員会	16日	議会広報特別委員会
24日	総務常任委員会	27日	議会運営委員会
	文教厚生常任委員会		
	庁舎建設特別委員会		

## 平成25年第2回 阿波市議会臨時会 議案番号及び議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
議案第33号	林小学校地震補強工事のうち教室棟その他工事請負契約の締結について	原案可決
議案第34号	市場小学校地震補強工事のうち教室棟その他工事請負契約の締結について	原案可決
議案第35号	八幡小学校地震補強工事のうち教室棟その他工事請負契約の締結について	原案可決
議案第36号	柿原小学校地震補強工事のうち教室棟その他工事請負契約の締結について	原案可決
議案第37号	副市長の選任について	同意

## 平成25年第2回 阿波市議会定例会 議案番号及び議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
議案第38号	平成25年度阿波市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第39号	阿波市子ども・子育て会議条例の制定について	原案可決
議案第40号	阿波市学校給食センター建設工事請負契約の締結について	原案可決
報告第1号	平成24年度阿波市一般会計繰越明許費繰越計算書について	-
報告第2号	平成24年度阿波市水道事業会計予算繰越計算書について	-
議案第41号	監査委員の選任について	同意
議案第42号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第43号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第44号	公平委員会委員の選任について	同意
議案第45号	阿波市職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	原案可決
発議第2号	核兵器全面禁止条約の締結に関する意見書	原案可決
-	選挙管理委員会委員の選挙について	選挙
-	選挙管理委員会委員補充員の選挙について	選挙

## お気軽に傍聴にお越しください

熱い戦いの参議院選挙も終わり「アベノミクス」を唱えた自公連立が勝利し、衆参のねじれ国会が解消し、決められない政治から、決断できる政治へ変わろうとしていきます。阿波市においては、7月31日に学校給食センターの起工式が執り行われました。完成いたしました。幼稚園、小学校、中学校の子どもたちに阿波市で生産された食材で給食できます。地産地消を推進し、食育にも力を入れていこうと議会も各地へ視察・研修を行っています。

子どもたちには嬉しい夏休みですが、市民の皆様には猛暑の中、体調管理には十分気をつけてお暮らしてください。(江澤信明)

議会だより  
編集雑感